

## お知らせとお願い

当番世話人： 日比紀文(慶應義塾大学医学部消化器内科 教授)

期 日： 2010年3月5日(金)

会 場： ホテルグランヴィア京都 5階「古今の間(南)」

受 付： 午前8時30分から会場前にて行います。

※ 受付にて参加費3,000円と引換に名札をお受け取りください。

### ■世話人の先生方へ

1) 研究会前日(3月4日)午後7時より世話人会を開催致します。

### ■座長の先生方へ

- 1) 開始予定時刻の10分前には、次座長席にお着き下さい。
- 2) 時間厳守にご協力下さい。

### ■演者の先生方へ

- 1) 発表者(共同演者も含む)は研究会の会員に限ります。
- 2) 萌芽的研究では口演時間10分・討論時間3分、一般演題では口演時間は8分・討論時間は3分です。シンポジウムは合計80分で時間配分は座長に一任します。  
時間厳守でお願いします。
- 3) 発表方法は液晶プロジェクターによるプレゼンテーションのみでコンピューターは各自でご持参ください。(一応、事務局では32bit版OS、Microsoft PowerPoint: PowerPoint 2007 for Windowsを用意させていただきます。)  
Macintosh および64bit版OSにて作成したデータファイルの発表はPC本体持ち込みのみとさせていただきます。(メディアでのデータ持ち込みは出来ません。)  
発表者は口演の30分前を目安に演者受付に各自発表用のコンピューターをお持ちください。

## ■討論者の方々へ

- 1) 討論者は座長の許可を得た上で、所属・氏名を明確に述べ、討論を簡潔に進めて下さい。
- 2) 討論にはプロジェクターを用いないで下さい。

### 【第 28 回 Cytoprotection 研究会事務局】

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地

慶應義塾大学医学部消化器内科内

TEL: 03-3353-1211 内線 62320 FAX: 03-3357-2778

Email: kame-nao@sc.itc.keio.ac.jp

### 【サイトプロテクション研究会本部事務局】

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学内

Email: cytopro@koto.kpu-m.ac.jp

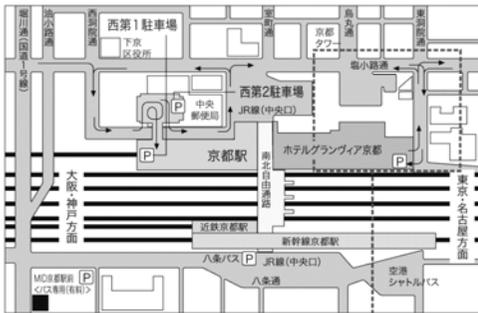
# 交通のご案内

## 【お車でのご越しの場合】



- 東京・名古屋方面から  
名神高速道路 京都東 I.C. を出て国道1号線を京都市街方面へ。
- 大阪・広島方面から  
名神高速道路 京都南 I.C. を出て国道1号線を京都市街方面へ。

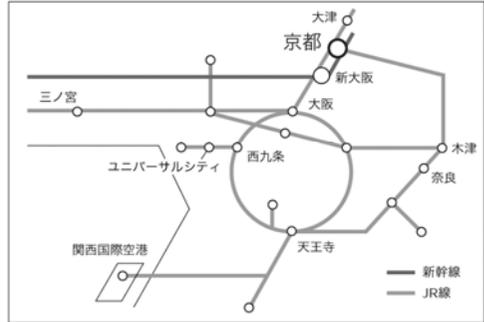
## 駐車場案内



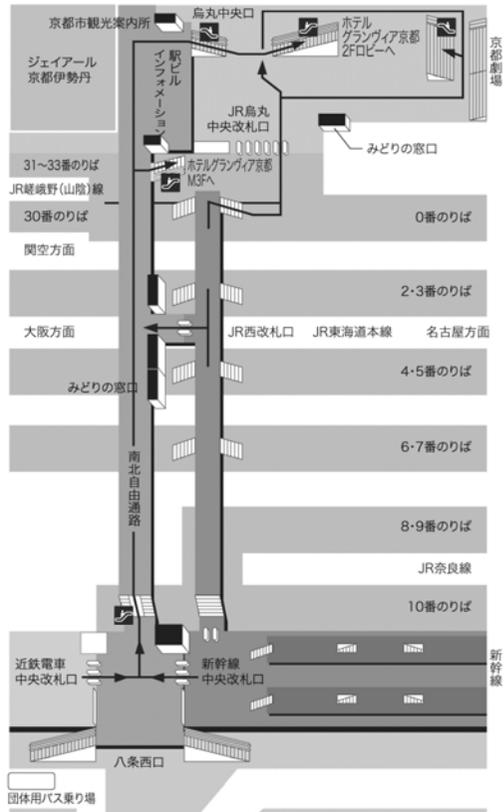
## 拡大図



## 【電車でお越しの場合】



- 関西国際空港よりJR関空特急「はるか」で約75分  
ホテルグランヴィア京都は、JR京都駅に直結しています。
- ユニバーサルシティ駅へは所要時間約40分  
JR京都駅→(新快速)→JR大阪駅→(直通列車)→JRユニバーサルシティ駅

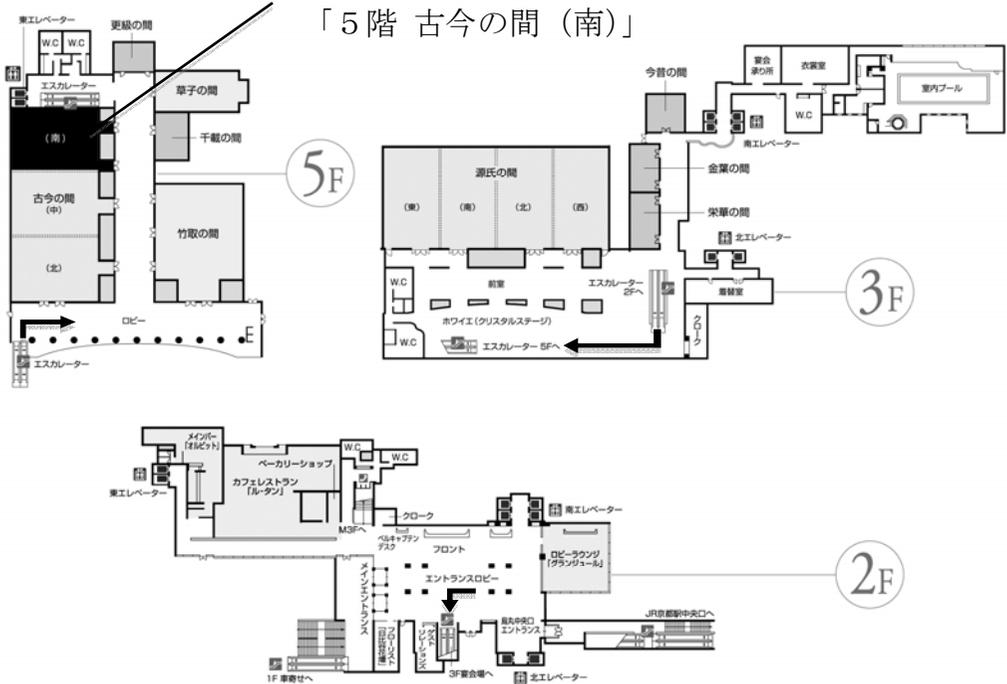


- 新幹線の場合  
新幹線中央口の改札を出て右折し、南北自由通路からお越しください。
- 在来線の場合  
JR烏丸中央改札口を出て、正面のエスカレーター(右側)を上ってお越しください。  
もしくはJR西改札口を出て右折し、南北自由通路からお越しください。

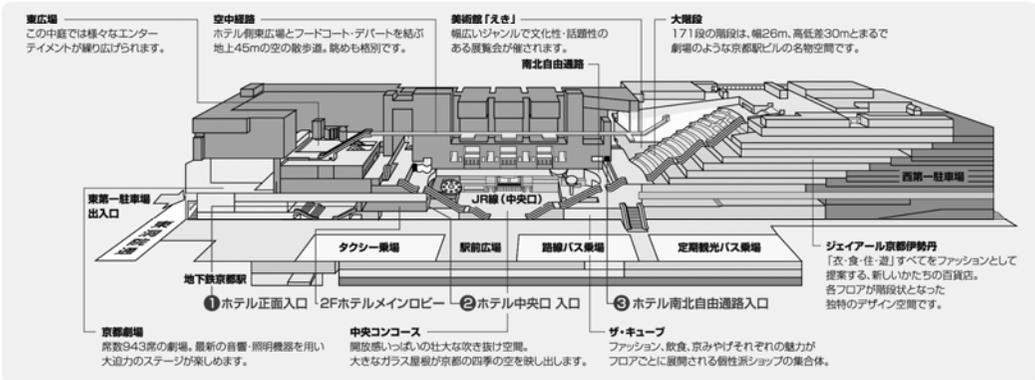
## 会場のご案内

### 口演会場

「5階 古今の間 (南)」



### 京都駅ビル



会場： ホテルグランヴィア京都 5階「古今の間 (南)」 JR 京都駅ビル内  
 TEL： 075-344-8888 (大代表) FAX： 075-344-4400  
<http://www.granvia-kyoto.co.jp/>

プログラム

8 : 5 5 ~ 9 : 0 0	開会の挨拶	日比 紀文
9 : 0 0 ~ 9 : 5 2	萌芽的研究 1 萌芽 1 ~ 萌芽 4	座長: 中村 正彦 齋藤 義正
9 : 5 2 ~ 1 0 : 4 4	萌芽的研究 2 萌芽 5 ~ 萌芽 8	座長: 石原 和彦 内藤 裕二
1 0 : 4 4 ~ 1 0 : 5 4	休憩	
1 0 : 5 4 ~ 1 1 : 5 4	特別講演 岡野 栄之 先生	座長: 竹内 孝治 共催: 大塚製薬株式会社
1 1 : 5 4 ~ 1 2 : 0 4	休憩	
1 2 : 0 4 ~ 1 3 : 0 4	ランチョンセミナー 金井 弥栄 先生	座長: 城 卓志 共催: 大鵬薬品工業株式会社
1 3 : 0 4 ~ 1 3 : 2 0	総会	
1 3 : 2 0 ~ 1 3 : 5 3	一般演題 1 1 ~ 3	座長: 谷中 昭典 松井 裕史
1 3 : 5 3 ~ 1 4 : 2 6	一般演題 2 4 ~ 6	座長: 渡辺 守 水島 徹
1 4 : 2 6 ~ 1 5 : 1 0	一般演題 3 7 ~ 1 0	座長: 梅垣 英次 峯 徹哉
1 5 : 1 0 ~ 1 5 : 2 0	休憩	
1 5 : 2 0 ~ 1 6 : 4 0	シンポジウム S1 ~ S4	座長: 井上 正康 鈴木 秀和
1 6 : 4 0 ~ 1 6 : 4 5	閉会の挨拶	日比 紀文

第 28 回サイトプロテクション研究会 プログラム

平成22年3月5日(金)8:55～16:45 ホテルグランヴィア京都

開会の挨拶 8:55 - 9:00

当番世話人: 日比紀文

萌芽的研究1 9:00 - 9:52

座長 : 中村 正彦 (北里大学薬学部病態解析学)  
斎藤 義正 (慶應義塾大学医学部消化器内科)

萌芽1 NSAIDs 潰瘍に対する HSP70 の保護作用

○末益慎太郎、水島徹  
(熊本大学大学院医学薬学研究部)

萌芽2 NSAID 起因性小腸潰瘍に対する HSP70 の抑制効果

○浅野帝太、水島徹  
(熊本大学大学院医学薬学研究部)

萌芽3 NSAIDs 誘発性小腸上皮細胞障害に対するゴラプレジシクスの保護効果についての検討

○尾松達司<sup>1</sup>、内藤裕二<sup>1</sup>、半田修<sup>1</sup>、水島かつら<sup>1</sup>、春里暁人<sup>1</sup>、  
平田育大<sup>1</sup>、岸本悦子<sup>1</sup>、内山和彦<sup>1</sup>、高木智久<sup>1</sup>、八木信明<sup>1</sup>、  
古倉聡<sup>1</sup>、市川寛<sup>2</sup>、吉川敏一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>京都府立医科大学 消化器内科、  
<sup>2</sup>同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科)

萌芽4 消化管におけるシアロムチンの動態に関する検討

○岩井知久<sup>1</sup>、市川尊文<sup>2</sup>、坪川大悟<sup>2</sup>、五艘行信<sup>2</sup>、小泉和二郎<sup>1</sup>、石原和彦<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>北里大学 消化器内科、<sup>2</sup>同 生体制御生化学)

## 萌芽的研究2

9:52 – 10:44

座長：石原 和彦（北里大学医療衛生学部病態生化学）  
内藤 裕二（京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学）

### 萌芽5 *Helicobacter heilmannii* 感染によるリンパ濾胞形成機構の解析

○高橋哲史<sup>1</sup>、中村正彦<sup>1</sup>、松井英則<sup>2</sup>、村山そう明<sup>2</sup>、中村真一<sup>3</sup>、  
白鳥敬子<sup>3</sup>、日比紀文<sup>4</sup>、土本寛二<sup>1</sup>、  
(<sup>1</sup>北里大薬、<sup>2</sup>北里大・生命研、<sup>3</sup>東京女子医・消化器内科、  
<sup>4</sup>慶應大医・消化器内科)

### 萌芽6 胃潰瘍治癒過程におけるオートファジーの意義について

○谷川徹也、渡辺俊雄、灘谷祐二、大谷恒史、町田浩久、岡崎博俊  
山上博一、渡辺憲治、富永和作、藤原靖弘、押谷伸英、荒川哲男  
(大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学)

### 萌芽7 虚血再還流における肝細胞死とオートファジーの関係について

○山科俊平、渡辺純夫  
(順天堂大学消化器内科)

### 萌芽8 大腸癌細胞における Desmocollin2 遺伝子の抑制を解除するホメオ ドメイン転写因子 Cdx2 の制御機構

○Shinsuke Funakoshi<sup>1,2</sup>, Ezaki Toshihiko<sup>1</sup>, Jianping Kong<sup>1</sup>, Rong Jun Guo<sup>1</sup>, John P.  
Lynch<sup>1</sup>, Toshifumi Hibi<sup>2</sup>

<sup>1</sup>Division of Gastroenterology, Department of Medicine, University of Pennsylvania,

<sup>2</sup>Division of Gastroenterology, Keio University School of Medicine

## 休憩

10:44 – 10:54

特別講演 10:54 - 11:54

座長：竹内 孝治  
(京都薬科大学薬物治療学分野)

「iPS 細胞技術と遺伝子改変霊長類モデルを用いた神経再生・神経疾患研究」

岡野 栄之  
(慶應義塾大学医学部生理学教室)

共催 大塚製薬株式会社

休憩 11:54 - 12:04

ランチョンセミナー 12:04 - 13:04

座長：城 卓志  
(名古屋市立大学大学院医学研究科消化器・代謝内科学)

「がんのリスク診断・病態診断マーカーとしての DNA メチル化異常」

金井 弥栄  
(国立がんセンター研究所病理部)

共催 大鵬薬品工業株式会社

総会 13:04 - 13:20

一般演題1 13:20 -13:53

座長：谷中 昭典(東京理科大学薬学部臨床薬理学)  
松井 裕史(筑波大学人間総合科学研究科)

1 炎症性サイトカイン(IFN- $\gamma$ 、TNF- $\alpha$ )は大腸粘膜上皮細胞における HSP 発現を低下させ、酸化ストレスによる大腸粘膜傷害を増悪させる

○叶内至、福本敦、大森俊、谷中昭典  
(東京理科大学 薬学部 臨床薬理学)

- 2 **腸管杯細胞分化における Notch リガンド分子 DLL1 の役割**  
○秋山純子、岡本隆一、土屋輝一郎、中村哲也、渡辺守  
(東京医科歯科大学・大学院・消化器病態学)
- 3 **下部消化管の粘膜防御機構における, chymase 依存性 MMP-9 の役割**  
○柿本一城<sup>1</sup>、村野実之<sup>1</sup>、高井真司<sup>2</sup>、石田久美<sup>1</sup>、依田有紀子<sup>1</sup>  
梅垣英次<sup>1</sup>、樋口和秀<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>大阪医科大学 第2内科、<sup>2</sup>薬理学教室)

## 一般演題2

13:53~14:26

座長：渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器内科)

水島 徹 (熊本大学大学院医学薬学研究部薬学微生物学)

- 4 **虚血性腸炎の発症における COX/PGE<sub>2</sub>/EP4 受容体の役割**  
○中森由佳、小島慎二、小松佳乃、小谷透、竹内孝治  
(京都薬科大学・病態薬科学系・薬物治療学分野)
- 5 **Bach1 ノックアウトマウスにおけるインドメタシン小腸粘膜障害の検討**  
○春里暁人<sup>1</sup>、内藤裕二<sup>1</sup>、高木智久<sup>1</sup>、山田真也<sup>1</sup>、水島かつら<sup>1</sup>、尾松達司<sup>1</sup>、  
平田育大<sup>1</sup>、岸本悦子<sup>1</sup>、内山和彦<sup>1</sup>、半田修<sup>1</sup>、八木信明<sup>1</sup>、古倉 聡<sup>1</sup>、市川寛<sup>2</sup>、  
武藤哲彦<sup>3</sup>、五十嵐和彦<sup>3</sup>、吉川敏一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>京都府立医科大学 消化器内科、  
<sup>2</sup>同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科、  
<sup>3</sup>東北大学大学院 医学系研究科 生物化学分野)
- 6 **炎症性腸疾患モデルにおける一酸化炭素 (CO; carbon monoxide) の効果に  
ついての検討**  
○内山和彦、内藤裕二、高木智久、水島かつら、平田育大、  
鈴木隆弘、吉川敏一  
(京都府立医科大学 消化器内科)

### 一般演題3

14:26－15:10

座長：梅垣 英次（大阪医科大学第二内科）

峯 徹哉（東海大学医学部内科学系消化器内科学）

#### 7 胃酸分泌の調節におけるホスホジエステラーゼ(PDE)アイソザイムの関与

○本田真弥、奥田さやか、出原千歳、加藤伸一、竹内孝治

（京都薬科大学 病態薬科学系 薬物治療学分野）

#### 8 ビスフォスフォネートによる上部消化管粘膜傷害の発症機序には ミトコンドリアからの superoxide 産生が関与している

○長野由美子、松井裕史、金子剛、下川治、頼冠甫、中原朗、犬童寛子<sup>1</sup>

馬嶋秀行<sup>1</sup>、兵頭一之介

（筑波大学人間総合科学研究科、<sup>1</sup>鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）

#### 9 インドメタシン並びに酸環境曝露はミトコンドリア傷害を惹起する

○松井裕史、長野由美子、金子剛、下川治、頼冠甫、中原朗、犬童寛子<sup>1</sup>、

馬嶋秀行<sup>1</sup>、兵頭一之介

（筑波大学人間総合科学研究科、<sup>1</sup>鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）

#### 10 急性肝不全における High mobility group box-1 の役割

○篠田昌宏<sup>1</sup>、田辺稔<sup>1</sup>、高野公德<sup>1</sup>、大島 剛<sup>1</sup>、海老沼浩利<sup>2</sup>、

山田晋吾<sup>3</sup>、宮庄拓<sup>4</sup>、須田康一<sup>1</sup>、日比泰造<sup>1</sup>、林田哲<sup>1</sup>、

福永興壱<sup>2</sup>、山岸由幸<sup>2</sup>、尾原秀明<sup>1</sup>、竹内裕也<sup>1</sup>、河地茂行<sup>1</sup>、

斎藤英胤<sup>2</sup>、丸山征郎<sup>5</sup>、日比紀文<sup>2</sup>、北川雄光<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>慶應義塾大学外科、<sup>2</sup>慶應義塾大学内科、<sup>3</sup>シノテスト研究開発部、

<sup>4</sup>酪農学園大学獣医学、<sup>5</sup>鹿児島大学血管代謝病態解析学）

### 休憩

15:10－15:20

シンポジウム

15:20 – 16:40

「消化器の炎症と発癌－エピジェネティクスとRNA研究の最前線－」

座長：井上 正康（大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学）

鈴木 秀和（慶應義塾大学医学部消化器内科）

S1 胃粘膜傷害時における Musashi-1 依存的な分子制御機構

○高橋哲史<sup>1,2</sup>、鈴木秀和<sup>1</sup>、土本寛二<sup>2</sup>、岡野栄之<sup>3</sup>、日比紀文<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>慶應大医・消化器内科、<sup>2</sup>北里大薬、<sup>3</sup>慶應大医・生理学）

S2 ヒト肝細胞キメラマウスを用いた肝細胞癌における DNA メチル化異常の解析

○岡本泰幸<sup>3</sup>、新城恵子<sup>1</sup>、田中靖人<sup>2</sup>、安藤朝章<sup>3</sup>、野尻俊輔<sup>3</sup>、  
神谷武<sup>3</sup>、片岡洋望<sup>3</sup>、中沢貴宏<sup>3</sup>、城卓史<sup>3</sup>、関戸好孝<sup>1</sup>、近藤豊<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>愛知県がんセンター研究所 分子腫瘍学部）

（<sup>2</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科 ウイルス学）

（<sup>3</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学）

S3 エピジェネティック制御による let-7 発現抑制を介した胃発癌メカニズム

○林義人、辻井正彦

（大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学）

S4 マイクロ RNA を介した胃癌に対するエピジェネティック治療

○斎藤義正<sup>1</sup>、鈴木秀和<sup>1</sup>、津川仁<sup>1</sup>、松崎潤太郎<sup>1</sup>、平田賢郎<sup>1</sup>、  
金井弥栄<sup>2</sup>、日比紀文<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部消化器内科

<sup>2</sup>国立がんセンター研究所病理部）

閉会の挨拶

16:40 – 16:45

当番世話人 日比紀文